

「g（グラム）」とは？重さの単位とくらべ方をわかりやすく解説

「重さ」とは

「重さ」とは、「ものや人のりょう」のことだよ。
かんたんに言うと、「どっちが重いのか」とか、「どのくらい重いのか」を表したもののなんだ。

「重さ」は、みんなの生かつの中でも、いろんなところで使われているよ。

- ・スーパーでは、「重さ100gで200円」のお肉が売っているよね。
- ・おかしを作るときに、「塩の重さ」をはかったりするね。
- ・お風呂あがりに体重計に乗って、「体の重さ」をはかったりするね。

ちょっと豆知しき

スポーツのじゅう道では、「かいきゅう」というのがあって、せん手の重さ（体重）によって、グループが分けられているんだ。
体の重さをきちんとはからないと、し合ができないようになっているよ。

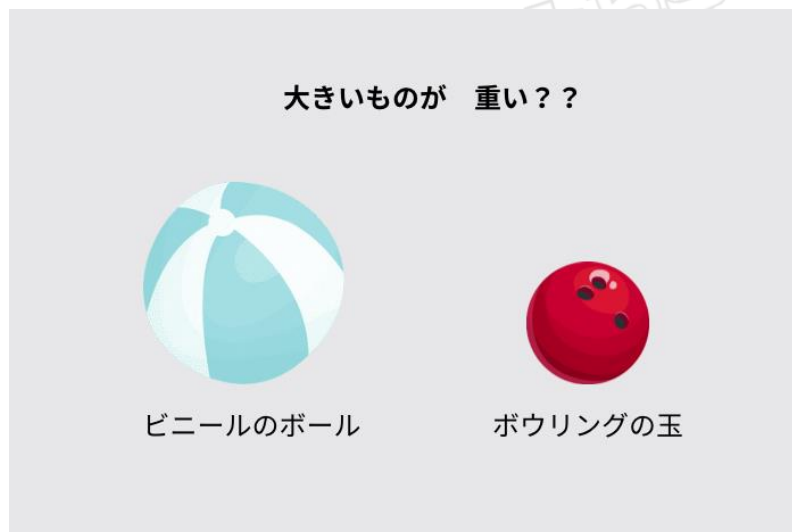


ものの大きさと重さ

「重さ」は、ものの大きさにできるのかな？？

大きいものと、小さいものでは、かならず大きいもののほうが重いとはかぎらないよ。

たとえば、ビニールでできている「ビーチボール」と、金属などでできている「ボウリングの玉」だったら、ビーチボールのほうが大きいけれど、ボウリングの玉のほうが重いよね。



大きいものの方が、かならず重いというわけではないんだね。

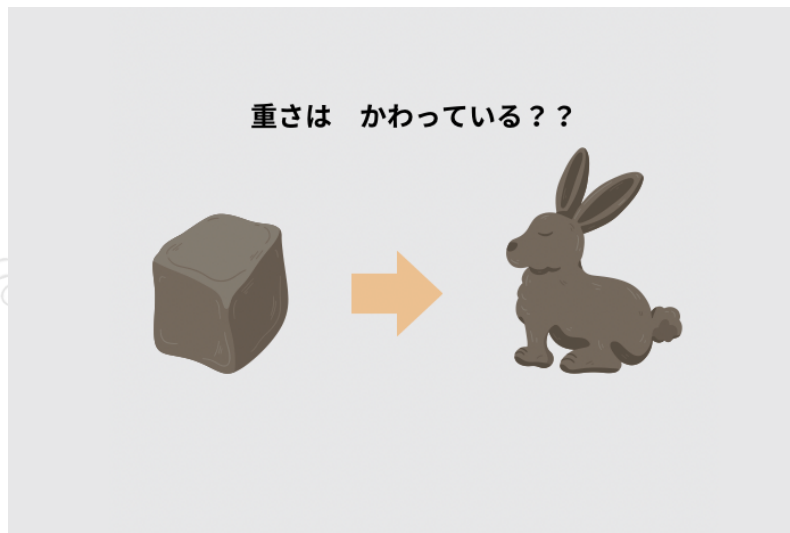
ものの形と重さ

「重さ」は、ものの形で変わるのかな？？

たとえば、「ねんど」をぜんぶつかって「うさぎ」を作ったとするよ。



ねんどは、ただのねんどのかたまりから、うさぎの形になったよね。
このとき、ねんどの重さは変わるかな？



たとえ形がかわっても、おなじりょうの ねんどなので、重さは変わらないね。

重さとは

- ・ 「ものや人のりょう」のことで、「どっちが重いのか」とか、「どのくらい重いのか」を表したもの。
- ・ 大きいものほど、重いとばかりではない。
- ・ 形がかわっても、重さは変わらない。



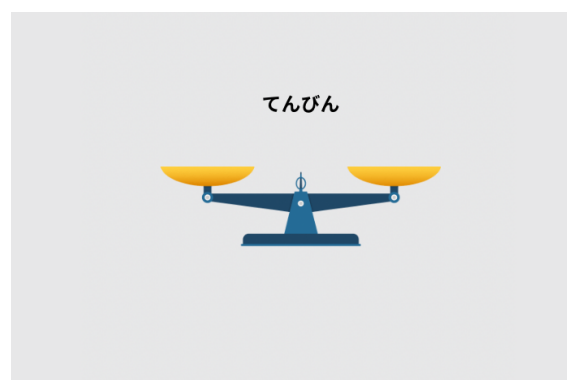
「重さ」のくらべ方（てんびん）

どっちが重いのか、どのくらい重いのかをくらべるには、どうしたらいいだろう？

くらべる2つのものを手で持ってみて、「こっちの方がちょっと重いな」とか、「いや、同じくらいかな？」なんて、いちいちたしかめるのは大へんだし、人によってちがったりしてしまうから、正かくではないよね。



そこで、「てんびん」をつかって2つの重さをくらべるほうほうをしようかいするよ。



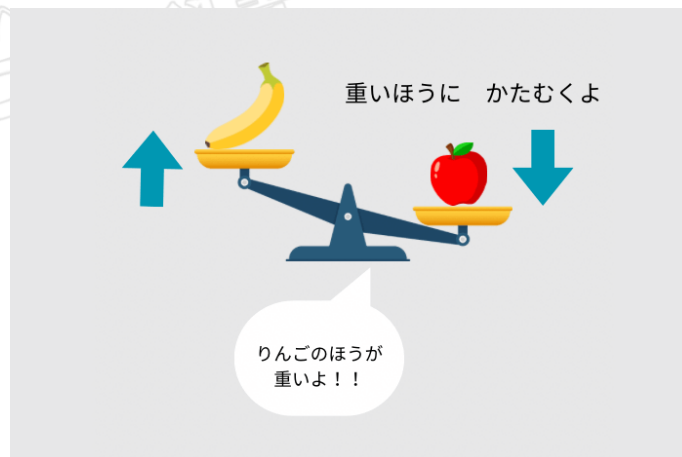
てんびんには、右と左にそれぞれお皿があって、重さをくらべたいものをお皿にのせてはかるんだ。



くらべたいものを お皿にのせると、てんびんは「重い方」に「かたむく」よ。

もし2つが同じ重さの場合は、右と左のお皿は「つりあう」よ。

たとえば、バナナとりんご、どちらが重いのかをくらべたいときは、それぞれをお皿にのせて はかるよ。



てんびんが上のイラストのように「りんごの方にかたむいた」ということは、「りんごの方が重い」ということがわかるね。

こんどは、みかんとりんごをお皿にのせてみたとするよ。



てんびんが上のイラストのように「つりあった」ということは、「みかんとりんごの重さは同じ」ということがわかるね。



てんびんをつかった「重さ」のはかりかた

- ・ 2つの重さをくらべるには「てんびん」を使う。
- ・ くらべたいものを お皿にのせると、てんびんは「重い方にかたむく」。
- ・ 2つのものが同じ重さのときは、てんびんは「つりあう」。

「重さ」を数で表す

てんびんは、2つのものの重さをくらべることはできるけれど、どちらが重いかはわかって、それぞれが「どのくらい重いのか」はわからないよね。「どのくらい重いのか」を表すには、「重さ」を数で表さなくてはいけないんだ。

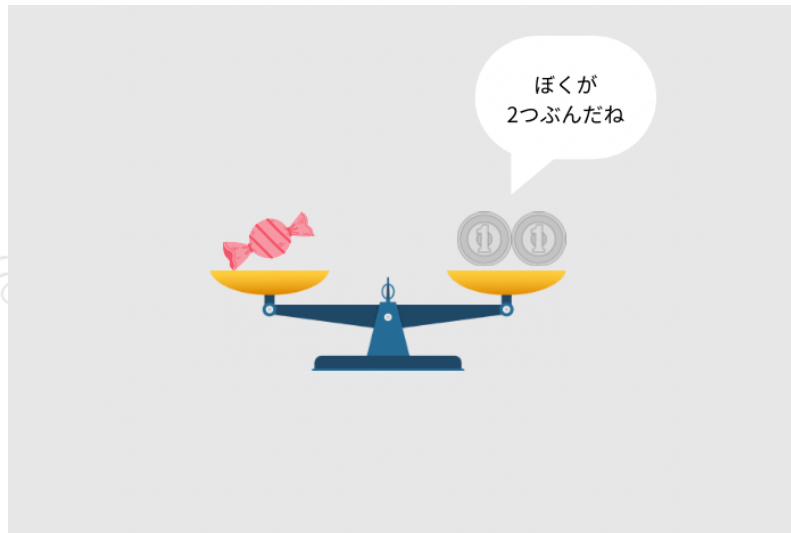
それには、「もとになるもの」をつかって、それぞれが「もとになるもの」がいくつぶんなのか、数で表してくらべるといいんだ。

「もとになるもの」をつかって表す

たとえば、1円玉を「もとになるもの」にしてみよう。



たとえば、あめ玉が、もともになる「1円玉」いくつぶんかを、てんびんをつかって はかってみるよ。



あめ玉は、1円玉2つぶんの重さだね。

つぎに、葉っぱは1円玉いくつぶんかを はかってみよう。



葉っぱは、1円玉3つぶんの重さだね。

ということは、あめ玉と葉っぱでは、葉っぱの方が重いことがわかるね。



重さのたんい「g（グラム）」とは

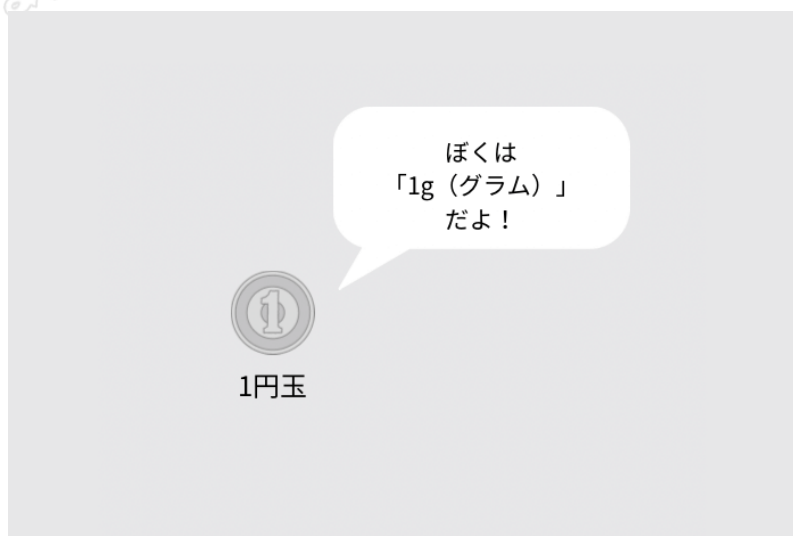
「もともになるもの」をつかえば、重さをくらべることができるね。
でも、すごく思いものをはかったりするのに、たとえば1円玉をつかったら、ものすごくたくさん1円玉をよういしなくてはいけないよね。

それに、ほかの国の人に、「1円玉〇こぶん」とつたえても、わからないかもしれないよね。

なので、どの国でもいっしょにつかえる、「重さのたんい」があるんだよ。
それが、「g（グラム）」だよ。

g グラム

「cm」が長さのたんいでつかわれているのとおんなじだね。
ちなみに、1円玉1つの重さは、ちょうど1g（グラム）だよ。



「g (グラム)」をつかえば、すべての重さを数字ではかることができるね。

あめ玉は、1円玉2つぶんの重さと同じだったから、重さは「2 g」だということがわかるね。

葉っぱは、1円玉3つぶんの重さと同じだったから、重さは「3 g」だということがわかるね。

身近なものの重さ

身近なものの重さをしょうかいするね。

おなじ重さのたんいで表すことで、それぞれの重さのイメージがよくつたわるね。

みのまわりの「重さ」

- ・ えんぴつ1本は4 g
- ・ なっとう1パックは50 g
- ・ 500 mLのペットボトルは500 g
- ・ うまれたてのあかちゃんは、やく3000 g



「重さの単位とくらべ方」まとめ

- ・ 「ものや人のりょう」のことで、「どっちが重いのか」とか、「どのくらい重いのか」を表したもの。
- ・ 大きいものほど、重いとばかりではない。
- ・ 形がかわっても、重さは変わらない。
- ・ 2つの重さをくらべるには「てんびん」を使う。
- ・ くらべたいものを お皿にのせると、てんびんは「重い方にかたむく」。
- ・ 2つのものが同じ重さのときは、てんびんは「つりあう」。
- ・ 重さのたんいはグラムを使って「g」と書く。
- ・ 1円玉の重さは1g。

